



おはなしの
狂言きょうげん

「蝸牛」
狂言鑑賞きょうげんかんしやう



鑑かん

賞しやう

会かい

おはなしの
お囃子はやし



●能楽師のみなさんが
わかりやすく解説
●大人のみの参加も大歓迎です!

能のう・狂言きやうげん

小中学生のための

おはなしの
能のう

「狸々」
能鑑賞のうかんしやう



日時 令和7年 3月22日(土) ●開場13:00 ●開演13:30 ●能楽鑑賞終演予定15:30

場所 Toyoko City NOHAKUDO

豊田市能楽堂 (豊田参合館8階)



料金(税込)全席自由

ペア券(大人1人と小・中学生1人) ... 1,000円
大人 1,000円
小・中学生 500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※公演の内容が変更になることがございます。あらかじめご了承ください。
※友の会割引はありません。

チケットの販売・お問合せ 豊田市コンサートホール・能楽堂事務局

☎ 0565-35-8200

インターネット予約 <https://www.t-cn.gr.jp/>

<チケット発売日> 令和7年1月11日(土) 午前10時より発売開始

能・狂言鑑賞会

小中学生のための
能・狂言鑑賞会

番組

※当日の進行により、時間は前後する事が
ありますので予めご了承ください。

午後一時三十分
狂言のおはなし

午後一時四十分
狂言(和泉流)

蝸牛

シテ 山伏 井上 松次郎
アド 太郎冠者 鹿島 俊裕
後見 今枝 郁雄
井上 蒼大

休憩 (二十分)

午後二時二十五分
お囃子のおはなし

午後二時四十五分
能のおはなし

午後二時五十五分
能(金剛流)

猩々

シテ
ワキ

猩々 羽多野 良子
高風 橋本 幸
小鼓 山本 友子
大鼓 後藤 嘉津幸
太鼓 河村 裕郎
後見 加藤 洋輝
由美子 加藤 かおる
田中 春奈 熊谷 眞知子
平澤 由美子 伊藤 雅子

終演予定 午後三時三十分頃

能・狂言とは?

ろくびやごじゅうねんいじよう
六百五十年以上の歴史を持つ、日本の伝統芸能。
能は、謡や舞、楽器からなる音楽劇で、人間の持つさまざまな気持ちを描いています。
狂言は、セリフを中心とした会話劇で、おもしろいお話が多いです。

あらすじ

狂言「蝸牛」

太郎冠者は主人から、蝸牛を取ってくるように言われました。蝸牛とは、藪に住んでいて・頭が黒く・腰に貝をつけていて・角があり・やがて人ほどの大きさになるものだ」と聞いた太郎冠者が見つけたのは……

能「猩々」

むかしむかしの中国に、高風という人が住んでいました。高風は夢のおつげによって、市でお酒を売って、お金持ちになることができました。高風のころには、いくらお酒を飲んでも酔わない男がよく来ていました。名前を「猩々」といい、海に住んでいるといいいます。あるとき、高風は友の猩々が来るのを待っていました。すると海の中から猩々が現れ、お酒を飲みながら舞を舞います。猩々は高風に、永遠にお酒がわき出る壺をくれたのでした。



豊田市能楽堂 豊田参合館8階



受付時間/午前9時～午後9時 月曜日休館(但し、祝日は開館)
〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館8F
TEL 0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/>

交通のご案内

名鉄豊田線・三河線「豊田市」駅南
愛知環状鉄道「新豊田」駅から徒歩約5分
東名高速道路「豊田インター」から、自動車で約15分
伊勢湾岸自動車道「豊田東インター」から、自動車で約15分
東海環状自動車道「豊田松平インター」から、自動車で約15分

駐車場のご案内

次の駐車場は、駐車料金3時間無料サービスの認証をします。
公演の前後に、お食事やお買い物で、他のお店や施設を利用された場合
最大5時間無料のサービスを受けられる場合があります。

- | | | |
|----------|---------------|---------------------|
| ① 若宮駐車場 | ⑦ ヴィッツ駐車場 | ⑬ ギャザパーキング |
| ② 第1駐車場 | ⑧ 第2駐車場 | ⑭ キトラパーキング |
| ③ 昭和多駐車場 | ⑨ 産業文化センター駐車場 | ⑮ コモパーキング |
| ④ 喜多町駐車場 | ⑩ 新豊田駅西駐車場 | ⑯ 西町丸太パーキング |
| ⑤ 児ノ口駐車場 | ⑪ 新豊田駅地下駐車場 | ⑰ 豊田参合館駐車場 |
| ⑥ 元城駐車場 | ⑫ TM若宮パーキング | ⑱ 最大5時間無料 ● 最大3時間無料 |

とよたハートフルシリーズ2024

●能楽師のみなさんが
わかりやすく解説
お楽しみ参加も大歓迎です!

小中学生のための
能の鑑賞会

おはなし 狂言の鑑賞
「蝸牛」

おはなし 能の鑑賞
「狸々」

おはなし 能の鑑賞
「狂言鑑賞」

おはなし 能の鑑賞
「お雛子の鑑賞」

日時 令和7年3月22日(土) 午後1時30分開演

場所 豊田市能楽堂

主催 公益財団法人 豊田市文化振興財団 豊田市 協力 公益社団法人 能楽協会

今後の能楽堂公演のご案内

「わくわく能楽体験」

- ◆令和7年8月30日(土) 午後1時開演
- ◆全席自由 ペア券(大人1人と小学生以上高校生以下1人): 1,000 円
大人: 1,000 円
小学生以上高校生以下: 500 円
4歳以上小学生未満: 50 円
- ◆能楽師による解説付き公演。楽器演奏、能・狂言体験のワークショップあり!

とよたハートフルシリーズの公演特典です! ご活用ください

コンサートの余韻も食事もT-FACEで味わおう!

チケットの半券をご注文時にご提示ください。(コンサート当日より1週間(当日を含めた7日間)のみ有効)

- | | | |
|-------|--------------------------------|---------------------------------------|
| A館 1F | アイスクリーム
ブルーシール | レギュラーサイズのアイスご注文で
ミニアイストッピング無料 |
| A館 1F | 惣菜
グリーン・グルメ | 全品 10%OFF ※SALE品は除く |
| A館 3F | カフェ
挙母珈琲 | ブレンドコーヒー(挙母コーヒー) 10%OFF |
| B館 8F | 洋食・カフェ
洋食&CAFEのことこと屋 | お食事代 5%OFF |
| B館 8F | パスタ ピザ&デザート
パパディマリー | お食事代 5%OFF
※デザート、カフェメニュー、テイクアウトは除く |
| B館 9F | インド・ベトナム料理
スパカマナ | セットメニューご注文で、10%OFF |
| B館 9F | 寿司・和ごはん
三代目ふらり寿司&
お台所ふらり | お食事代 10%OFF
※コース・食べ放題は除く |

※予告なく営業時間および内容が変更になる場合がございます
※他サービス、クーポンとの併用不可

T-FACE TEL (0565) 33-0004

能・狂言鑑賞会

番組

※目の進行により、開始は前後する事が
ありますので予めご了承ください。

午後二時二十分
狂言のおはなし

午後四時十分
狂言(和泉流)

蝸牛

シテ 山伏 井上 松次郎
アド 太郎冠者 鹿島 俊裕
後見 主人 今枝 郁雄
井上 大

休憩 (二十分)

午後二時二十五分
お囃子のおはなし

午後四時十五分
能のおはなし

午後二時五十分
能(金剛流)

猩々

シテ 高風 羽多野 良子
ワキ 小鼓 橋本 幸
高風 後藤 友子
大鼓 河村 裕二
太鼓 加藤 洋輝
加藤 加藤 かのる
伊藤 眞知子
雅子

終演予定 午後二時三十分頃

あらすじ

狂言「蝸牛」

太郎冠者は主人から、蝸牛を取ってくるように言われました。蝸牛とは、"藪に住んでいて・頭が黒く・腰に貝をつけていて・角があり・やがて人ほどの大きさになるものだ"と聞いた太郎冠者が見つけたのは……

能「猩々」

むかしむかしの中国に、高風という人が住んでいました。高風は夢のおつげによって、市でお酒を売って、お金持ちになることができました。高風のころには、いくらかお酒を飲んでも酔わない男がよく来ていました。名前を「猩々」といい、海に住んでいるといいいます。あるとき、高風は友の猩々が来るのを待っていました。すると海の中から猩々が現れ、お酒を飲みながら舞を舞います。猩々は高風に、永遠にお酒がわき出る壺をくれたのでした。



今日のシテ（主演）に聞いてみました！



きょうげん 狂言

いのうえまつじろう
井上松次郎さん

Q①どうして能楽師になったのですか？

Q②どんなお稽古をするのですか？

Q③今日演じるのはどんな役ですか？

① 代々狂言を継承している家に生まれちゃったもので、平日は学校・土日は能楽堂、日常の中に稽古と発表が溶け込んでおりました。

「この道へ」と決定づけられたのは、東京藝術大学（音楽学部）進学でしょうか。お囃子をはじめ能楽全般を広く修得した濃密な4年間でした。

子どもの頃には《電車の運転士》とか《学校の先生》という職にも、淡い期待を持っていましたね。学校で教えるという部分については、狂言の活動を通じて実現できました。いっぽう趣味では今でも「鉄オタ」です・・・。

② 理解しがたいかもしれませんが、一つの演目に対して毎日毎日稽古していないんですね。若いころにどれだけの演目を繰り返し経験したかという積み重ねが財産となり、今では各々演者が自主的に仕上げておいて、いつでも誰とでも演じられる状態に心がけています。それが出来てこそプロだね。

というわけで今回上演する「蝸牛」も、共演者とは一回しか稽古していません・・・でもご安心を。『今すぐ演じてみて』と言われれば、30～40演目くらいならばすぐに演じられるかな!? リクエスト狂言（即興狂言）なんて企画も、程よい緊張感があって面白いかも。役者の技量・蓄積が試されますね。

③ 狂言に登場する山伏は、永年の苦しい難しい修行を乗り越えて「超能力」「神通力」を身に着けた存在としてふるまいます。「蝸牛」では、自らをかたつむりだと思っている太郎冠者（召使い）に対して、その力と合わせ持って信じさせ、からかうさまが見どころで、太郎冠者を面白可笑しくあやつる様子を、是非楽しみに期待してください。かたつむりの俗称《でんでんむし》は、殻の中から『出る出ろ、蟲蟲（むしむし）』が変化したものとされ、この狂言にそのヒントが隠れていますよ。



のう 能

はたのよしこ
羽多野良子さん

② 技術的には謡も舞も、はじめは理屈を考えずにただただ繰り返し。それから…心。能の主人公（シテ）は「ものがたり」したくて登場するモノたち。鬼も神も亡霊も精霊も、皆、愛すべきモノたちです。彼らを全力で、抱きしめる心を大切に稽古します。

① 父の影響でピアノ、ホルン（吹奏楽）。母の影響で茶道、華道…。能には全く縁のない生活の中で、高校生の時、初めて能を見ました。多感の年頃のことだ（笑）、今までにない衝撃的な出会いに遭遇して、そのまま今にいたりします。

③ 狸々は、純心に、楽しいぞー！と舞います。ゆるやかに波打つ、全身の躍動感を心がけています。目に見えない精霊の世界を、想像力をたくましくしてご覧ください。

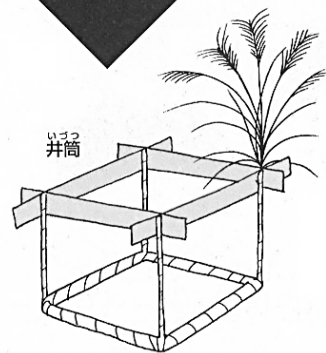
能はむずがしくないよ



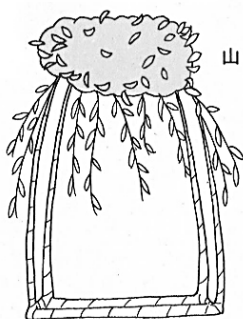
作り物

「作り物」

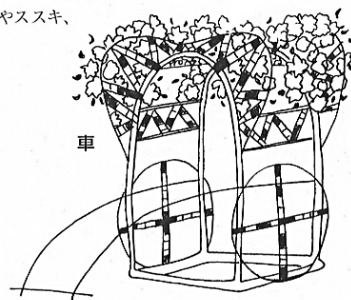
舞台装置のこと。竹と布の簡素な作りで、その度組み立てて舞台に持ち出します。能の内容によっては、花やススキ、木の枝なども使います。



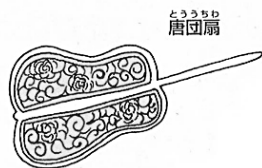
井筒



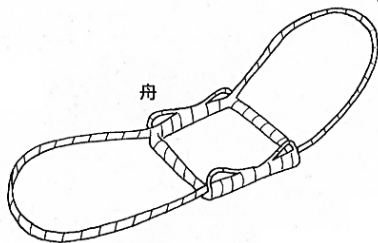
山



車



唐団扇



舟

能面

「能面」

能は主役が役柄にふさわしい面をつけて登場します。弁慶など現実的な男の役で面をつけない場合も、表情を出さず、顔を面のように扱います。



▲童子

永遠の美少年の面
「枕草子」「天鼓」など



老年の静寂な心を表す面
「拾遺」「頼朝」など
▼姥



▲増

高貴な女性や天女の役に使用される
「江口」「羽衣」など

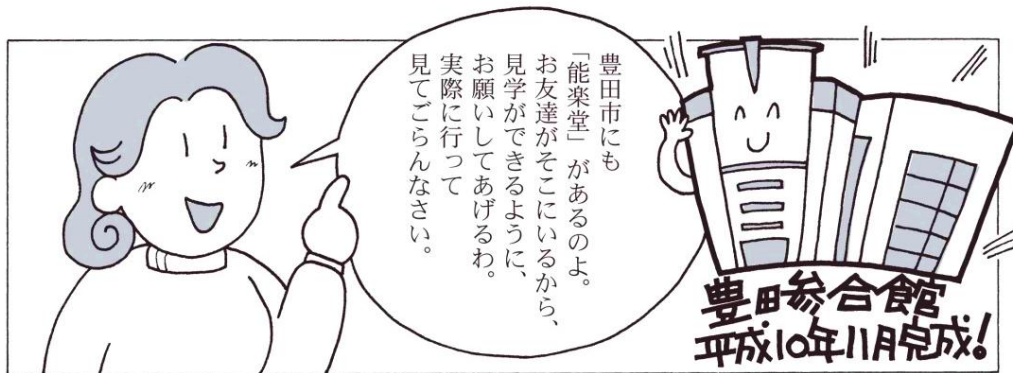


▲般若

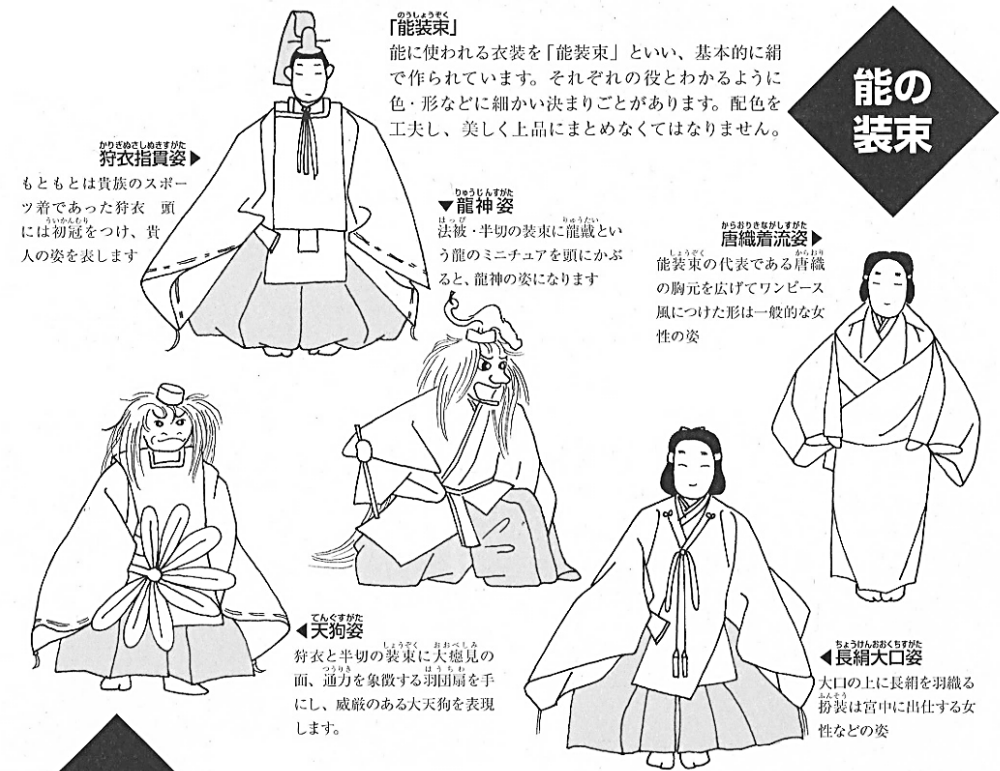
恐ろしさとともに悲しさを表す女性の鬼の面
「葵上」「道成寺」など

はじめての能と狂言

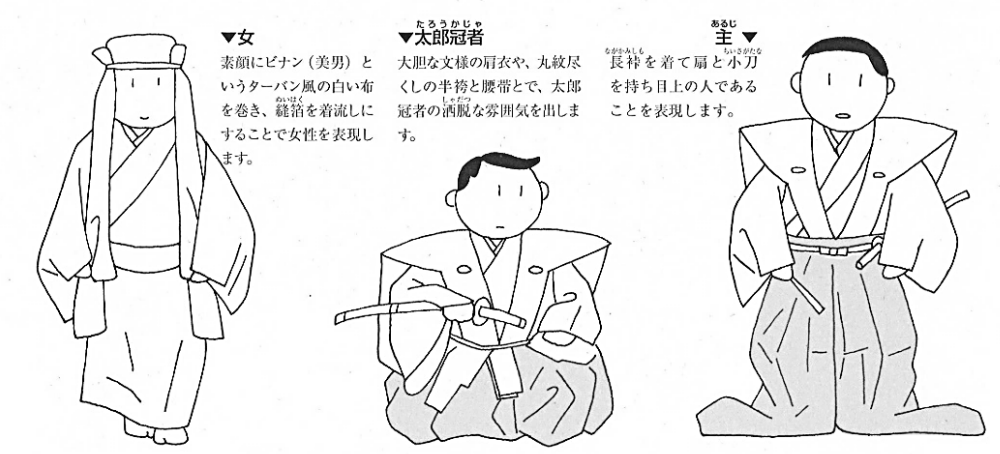




能の 装束



狂言の 装束

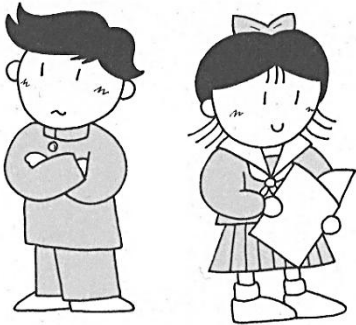


※このページは楽屋中心に紹介してあります。舞台は別ページにあります。

能屋ってどんなところ?

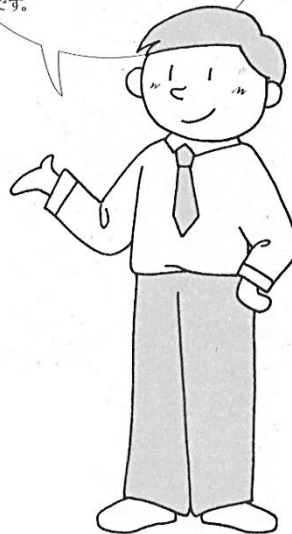
ほう 焼じ室

楽屋の奥に大きな火鉢が置いてある部屋があります。これは炭火で大鼓の皮をあぶって乾燥させるための専用の部屋です。(大鼓は乾燥していないとよい音ができません。)

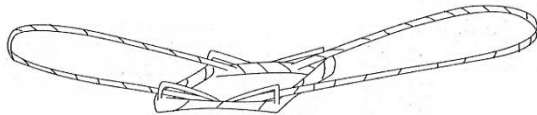


開演の2時間ほど前に出演者が楽屋に入ります。それぞれの役の準備をします。最終的な打合わせをし、服装を整え準備に手ぬかりがないか確認します。

楽屋は演者にとって大切な場所です。



作り物



楽屋の奥では、公演で使う小道具をそろえたり、作り物＝「簡単な装置」を作る作業が始まっています。基本的にはシテ方が演能のたびに作成して解体します。

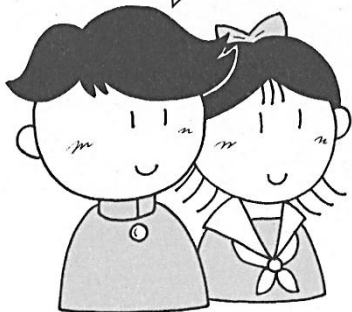
鏡の間

開演前には装束(能・狂言の衣装)をつけたシテ(主人公)は「鏡の間」の鏡の前で床几(＝腰掛)にすわり心の準備に入ります。そして能面(おもてといいます)を押し戴いて敬意を払ってからつけます。

面をつけるには自分をすべて能面に押し込めるという気持ちで……じっと精神集中して能の世界に入っていきます。そして揚幕があがり橋掛りを通して舞台への登場となります。



精神統一する
とても大切な
ところなんだね。



能と狂言って どこがちがうの?

写真を見て！1は能の一場面、2は狂言の一場面だ。ずいぶん違った感じがするね。

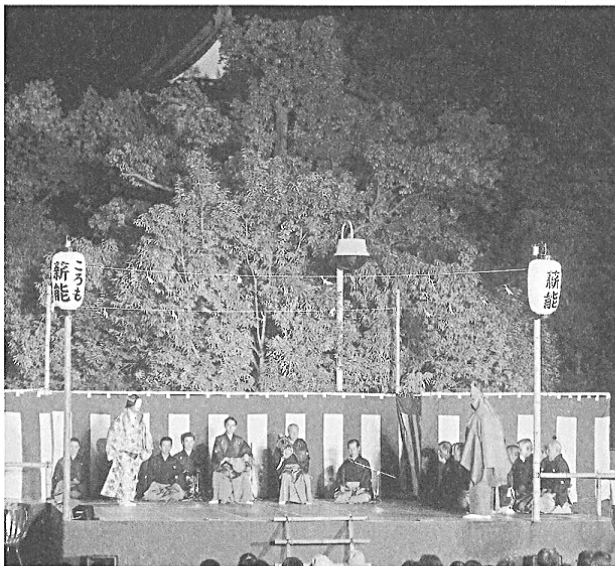
狂言に出てくる人たちは、お金持ちや大名や、その召使い、お坊さんや小僧さん、失業者や泥棒、詐欺師、強い奥さんと弱い旦那、といった人たちだ。いばっていても実はおく病。物おぼえがわるくて、すぐ忘れる。両手をしばられていてもなんとか工夫してお酒を盗み飲みする。お使いが嫌で、鬼に化けて主人を脅かそうとする。つまりどこにでもいそうな人たちだ。有名な人などほとんど出てこないし、たまに出てきても笑いのものにされてしまう。

一方、能の登場人物は、義経や弁慶、小野小町や光源氏のような有名な人や美女、子供が行方不明になって悲しむ母・龍神・鬼神・狐の精霊などさまざまで、テーマも『船弁慶』のような有名な話だったりする。美しい衣装、歌や舞、そして楽器による伴奏がつく、洗練された芸術的な内容なんだ。

こうしてみると、能は音楽的な要素の強いドラマ＝一種のミュージカル、狂言はセリフで話をすすめる楽しい喜劇ということになる。能の公演ではこの二つが順に上演されるから、お客さんはすぐれたドラマとコメディーを楽しむことができるんだ。

600年以上も昔から続いてきた能・狂言。外国の人たちからも高く評価されている。研究している外国人の学者もたくさんいるんだ。うんと日本的だからすごく世界的、うんと古いからとっても新しい。ちょっと不思議な芸術、それが能・狂言なんだ。





夏に各地で開催される「新能」
野外に舞台をつくり、傍らでかがり火をたき、
自然の中で行われます。

豊田市能楽堂の特徴

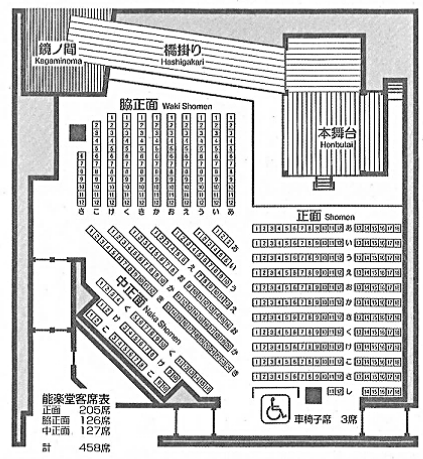
能舞台が現在のようになつたのは桃山時代(豊臣秀吉の頃)ですが、この豊田市能楽堂の舞台もその頃の雰囲気を生かそうとしています。

能舞台は観客席(見所)に張り出しているのが特徴で、演じる人と観る人との距離が近く、親しみがありません。

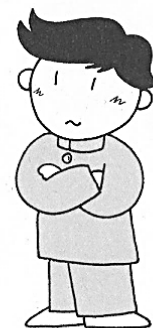
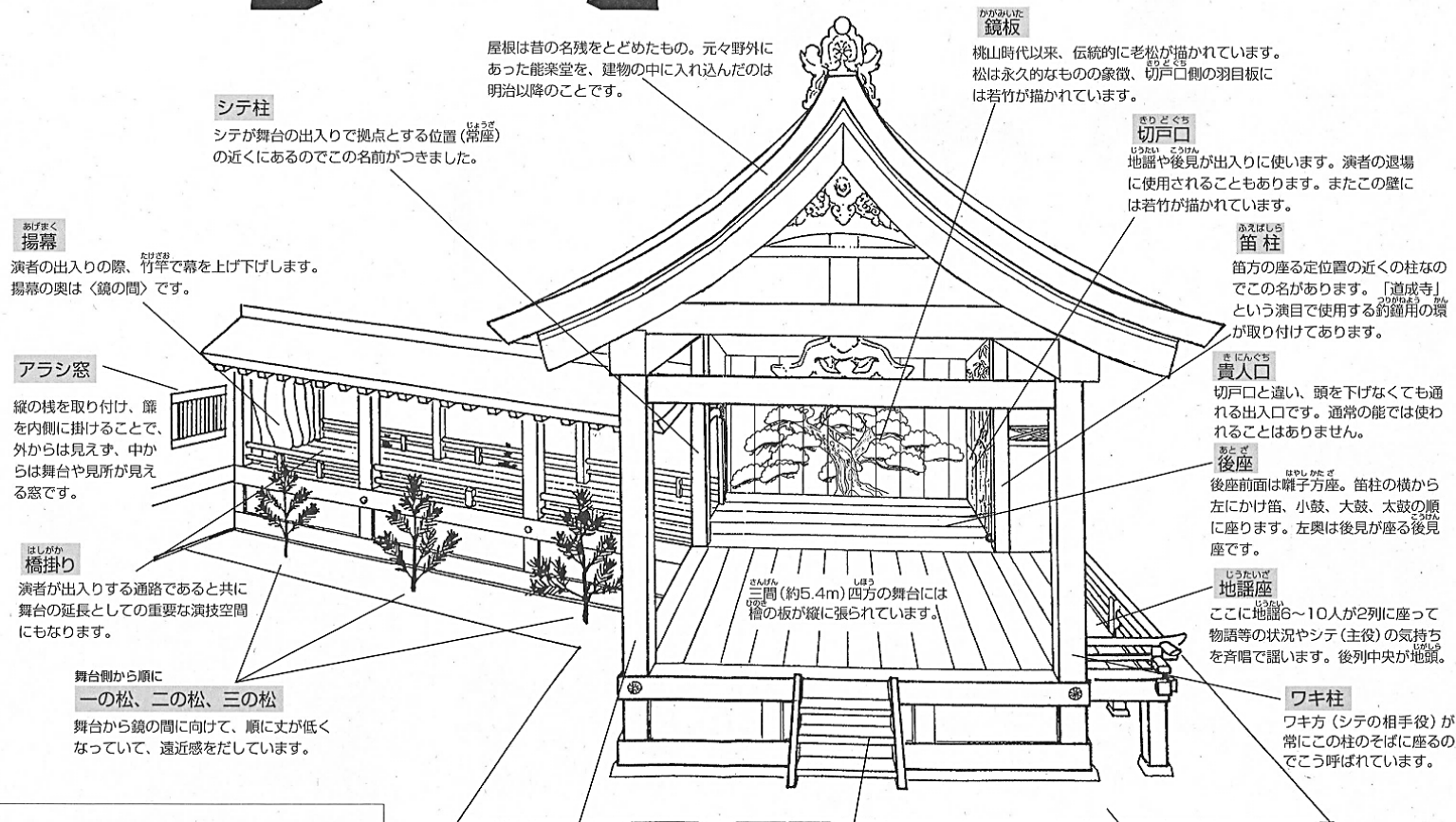
能の見所



能の観客席を見所と言います。正面、脇正面、中正面の三方から取り囲んでいます。正面席は一般に好まれるよい席。脇正面は通の好む席。中正面は目付柱で少し視野がさぎざられますが、能の立体感を見るのによい席です。



これが能舞台だ!!



Q1: 能っていつできたの?

A: 奈良時代に中国大陸から伝わった散楽(軽わざ、曲芸、物まねなど)と呼ばれる芸能が起源とされています。その後、室町時代の初期に観阿弥、世阿弥親子が舞台芸術として完成させました。

Q2: なんで屋根があるの?

A: もともと能は神社やお寺の建物で演じていて、お客はその周りから見ていました。その頃の雰囲気を残すために室内の能楽堂でも屋根があるのです。

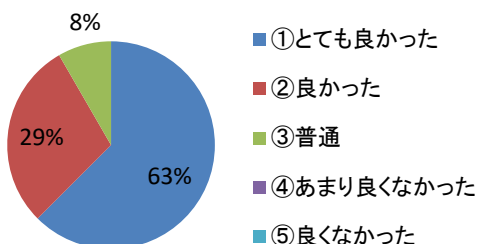
Q3: なんで松の絵なの?

A: 神社やお寺で能を演じていた頃は、舞台の後ろには境内内に生えている木が見えていました。それを再現するため、緑起が良いとされる松が描かれているのです。

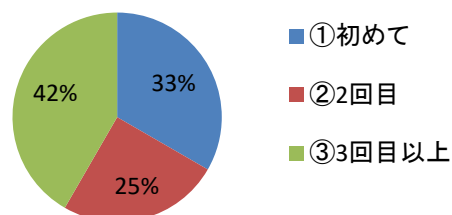
令和7年3月22日(土)
小中学生のための能・狂言鑑賞会 アンケート集計結果

集客	173
アンケート回収率	14%
回収枚数(紙)	20
回収枚数 (WEB)	4

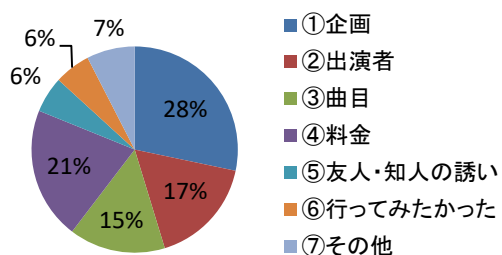
1 公演はいかがでしたか



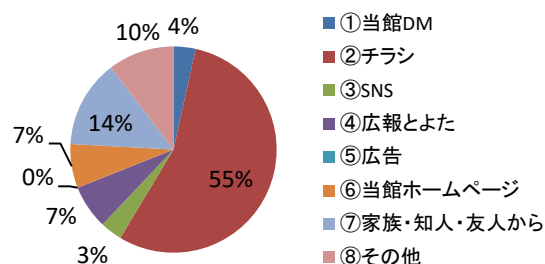
2 能楽堂に来たことはありますか



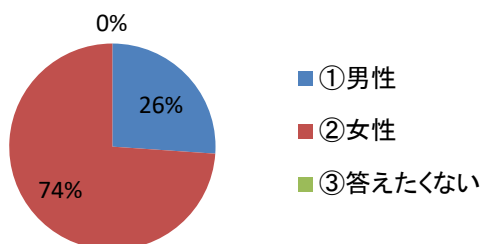
3 来場理由



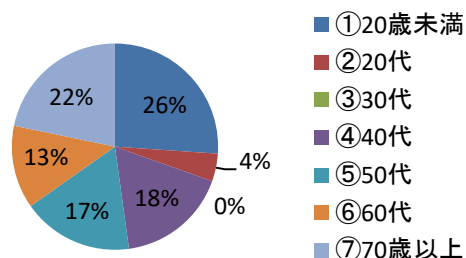
4 公演を知った手段



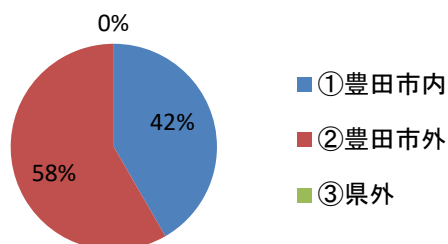
6-1 性別



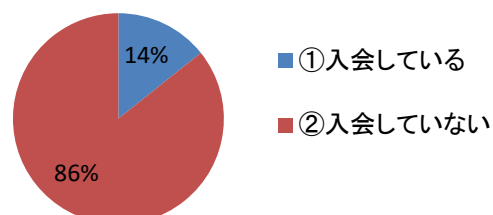
6-2 年齢



6-3 どちらからご来場ですか



6-4 友の会には



3-7 その他

狂言を見たかった	1
母にすすめられたから	1
小中学生向けと聞いて	1
前から観たいと思っていた。	1

4-8 その他

狂言体験講座を受講したので	1
狂言の方からのご案内(チラシ)をいただいたので	1
母からの話	1

6-3-3豊田市外

名古屋市	6	刈谷市	3
みよし市	2	春日井市	1

【 5 公演についての感想・能楽堂で見たい公演など】

【紙回答】	
1	子供向けの解説がとても分かり易かったです。「棒しばり」や「ぶす」の演目を見たいで
2	素晴らしかった。感動した。
5	もっとたくさん演目を拝見したいと思いました。能楽の世界を知れて良かったです。先生方ありがとうございました。
6	狂言…演者さんの表情・声・立ち回りすべてに引き込まれた。大笑いしてしまいました。 おはやし…4人あつまると迫力がありましたね。 能…難しかったです。
10	今回のような公演にまたぜひ来たいと思います。（能・狂言が好きなので）内容もとても良いですし、チケット代がお手ごろな価格なのもとてもうれしいです。解説など詳しくきけるのもうれしいですし、パンフレットにも舞台のことやインタビューなどのせてくださり、大変うれしく思います。
11	蝸牛はまるで般若みたいだと私は思います。山伏は「でんでん蟲蟲」ととなえたからです。猩々はお酒を飲んだり、舞上がったりました。
13	小・中学生のための公演なら、もう少し小・中学生が興味をひきそうなはなしを入れた方がいいと思う。例えばクイズとか。お囃子のおはなしの中で、「たいこの達人」が出てきたのは、すごく良いと思いました。
14	違う空気感を感じることができました。音、動き。
16	楽しかった
17	初めて鑑賞させて頂き、興味深く謎だった文化にふれられて良かったです。
18	棒しばり
19	おもしろかったから、またみたーーーーいでっす！！
20	たのしかた
【WEB回答 4件】 5 公演についての感想や、能楽堂に対してのご意見・ご要望などをお聞かせください。	
1	狂言も能もわかりやすく伝えてくれて子供も勉強になりつつ、楽しんでもらえたので、またぜひやってほしい！
2	解説があって、わかりやすかった。
3	狂言は子供たちにも大受けでした。内容は置いといて。「でーんでーんむしむし」のくどいほどの繰り返しがおもしろく、とても良かった。一方能の曲は短くて良いし、真っ赤な猩々は印象的だけど、とっても眠かった。内容がよくわからない、謡の声が聞きづらい、シテは何言ってるかわからない。能に関しては、子供にも素人にもわかるように、もっと丁寧な説明が必要。なぜ猩々は赤いのか？仕舞いの意味とか、謡の詞章の内容とか。あらすじを現代劇仕立てとか、朗読劇とかで見せてからやるとか。工夫がほしい。
4	楽器の説明、演目の説明があり、よかった。大太鼓が、「世界一、演奏が痛い楽器」はびっくり。狂言の説明は丁寧過ぎてやや長い感じ（10分超え）、次の演目本番を観るために集中力が要るので、大人でむち7-8分で纏めてもらえたらよいと思った。狂言自体は上手で、大変！面白かった。また、見たいと思う。 能は、出演者も多く見応えあったが、やはり、大人（初心者）でも、理解がかなり難しい。音楽は楽しいが、面をつけた台詞は聞き取りにくく、言葉も難解だと感じた。